平成24年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年８月８日

上 場 会 社 名　ミヨシ油脂株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4404　URL http://www.miyoshi-yushi.co.jp/
代　表　者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　堀尾　容造
問合せ先責任者　(役職名)　取締役執行役員経理部長 (氏名)　山下　史生　(TEL) 03-3603-1149
四半期報告書提出予定日　平成24年８月10日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年12月期第２四半期の連結業績（平成24年１月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第２四半期	22,442	△7.6	621	△7.3	633	△7.4	203	△21.7
23年12月期第２四半期	24,281	12.2	670	△51.0	684	△52.9	260	△74.8

(注) 包括利益 24年12月期第２四半期　370百万円(194.4%) 23年12月期第２四半期　125百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年12月期第２四半期	1.98	―
23年12月期第２四半期	2.53	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第２四半期	44,920	19,028	42.3
23年12月期	48,200	18,864	39.1

(参考) 自己資本 24年12月期第２四半期　19,001百万円　23年12月期　18,837百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
23年12月期	―	―	―	2.00	2.00
24年12月期	―	―			
24年12月期(予想)			―	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成24年12月期の連結業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	△4.3	1,050	15.5	1,000	8.6	400	―	3.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期２Ｑ	103,068,954株	23年12月期	103,068,954株
②　期末自己株式数	24年12月期２Ｑ	82,010株	23年12月期	81,077株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期２Ｑ	102,987,360株	23年12月期２Ｑ	102,987,877株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（７）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として緩やかな持ち直しが見られましたが、欧州の債務危機問題や円高の長期化ならびに電力供給の制約等、国内外を問わず懸念材料が多く、引き続き極めて不透明な状況で推移いたしました。

当油脂加工業界におきましても、消費の低迷と消費者・流通の低価格志向に加え、油脂原料価格が海外経済情勢を受け不安定に推移するなど厳しい状況となりました。

このような状況のなかで当社グループは、市場ニーズを的確に捉えた製品開発と販売活動を推進するとともに、生産体制の効率化とコスト削減等の業務改善活動を推し進めました。

一方で、当社グループは、特許権侵害訴訟判決に基づく損害賠償金を平成24年３月30日に東ソー株式会社に支払いましたが、その後、同社より、本判決で認容された損害賠償金の算定対象後の平成23年４月１日以降に当社グループが販売した製品に対する損害賠償請求があり、同社と協議を重ねた結果、損害賠償金2億5千8百万円を支払うことで合意し、同額を特別損失として計上いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高224億4千2百万円（前年同期比7.6％減）、営業利益6億2千1百万円（前年同期比7.3％減）、経常利益6億3千3百万円（前年同期比7.4％減）、四半期純利益2億3百万円（前年同期比21.7％減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

①　食品事業

食品事業につきましては、主要需要先である製パン業界、製菓業界、即席麺業界向けマーガリン、ショートニングなどの主力製品の販売が、販売競争の激化と消費の低迷により伸び悩みましたが、利益面におきましては、油脂原料価格の高騰の影響を受けながらも、乳加工食品、マーガリン等の重点拡販商品の販売に注力するとともに生産体制の効率化等のコスト削減に努めたことにより増益となりました。

その結果、売上高は162億8千8百万円（前年同期比6.2％減）、営業利益は5億2千4百万円（前年同期比21.5％増）となりました。

②　油化事業

油化事業の工業用油脂製品につきましては、脂肪酸やグリセリンの販売が、中国をはじめとする海外需要の低迷による輸出不振の影響により伸び悩みました。

界面活性剤製品につきましては、香粧品分野でトイレタリー原料基剤の販売が新規顧客開拓等により伸長し、紙・パルプ分野においても家庭紙用薬剤の販売が順調に推移いたしました。

環境改善関連製品につきましては、廃水用重金属固定剤の国内および海外への販売が順調に推移いたしましたが、ピペラジン系の飛灰用重金属固定化処理剤の販売停止の影響により収益は減少いたしました。

その結果、売上高は59億9千9百万円（前年同期比12.2％減）、営業利益は6千6百万円（前年同期比67.6％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

前連結会計年度末に比べ、当第２四半期連結会計期間末の総資産は32億8千万円減少し、純資産は1億6千4百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.1％から42.3％に増加しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ20億1千万円減少し、61億2千7百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によって得られた資金は、2億9千4百万円（前年同期は11億4千9百万円）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益3億5千7百万円に、減価償却費の加算7億2千6百万円、損害賠償金2億5千8百万円、売上債権の減少7億3千9百万円、たな卸資産の減少3億3千6百万円、供託金の返還8億円、法人税等の還付2億2千2百万円等による資金の増加があった一方、仕入債務の減少12億5百万円、損害賠償金の支払20億9千9百万円等による資金の減少があったことによるものです。

投資活動の結果、13億6千3百万円の資金の減少（前年同期は8千5百万円の資金の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得13億4千4百万円等による資金の減少があったことによるものです。

財務活動の結果、9億4千万円の資金の減少（前年同期は8億7千万円の資金の減少）となりました。これは、主に有利子負債の返済7億3千4百万円および配当金の支払2億6百万円による資金の減少があったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年７月27日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,137	6,127
受取手形及び売掛金	12,934	12,194
商品及び製品	2,197	2,047
仕掛品	549	619
原材料及び貯蔵品	1,921	1,665
供託金	800	－
その他	1,227	537
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	27,755	23,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,670	4,616
機械装置及び運搬具（純額）	3,306	3,393
土地	4,548	5,321
その他（純額）	453	509
有形固定資産合計	12,979	13,840
無形固定資産		
その他	283	208
無形固定資産合計	283	208
投資その他の資産		
投資有価証券	5,422	5,659
その他	1,792	2,070
貸倒引当金	△32	△35
投資その他の資産合計	7,182	7,693
固定資産合計	20,445	21,741
資産合計	48,200	44,920

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,609	9,403
短期借入金	4,975	2,975
1年内返済予定の長期借入金	853	1,203
未払法人税等	29	40
訴訟損失引当金	2,108	―
その他の引当金	17	9
その他	1,739	2,561
流動負債合計	20,332	16,193
固定負債		
長期借入金	5,329	6,250
退職給付引当金	2,852	2,720
役員退職慰労引当金	563	486
その他	257	240
固定負債合計	9,003	9,698
負債合計	29,336	25,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	4,347	4,345
自己株式	△22	△22
株主資本合計	18,832	18,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	170
その他の包括利益累計額合計	5	170
少数株主持分	26	27
純資産合計	18,864	19,028
負債純資産合計	48,200	44,920

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	24,281	22,442
売上原価	20,541	18,867
売上総利益	3,740	3,575
販売費及び一般管理費	3,069	2,953
営業利益	670	621
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	86	88
持分法による投資利益	21	8
その他	48	60
営業外収益合計	160	160
営業外費用		
支払利息	128	128
その他	19	20
営業外費用合計	147	149
経常利益	684	633
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6	－
投資有価証券売却益	2	－
その他	0	－
特別利益合計	9	－
特別損失		
有形固定資産除却損	11	17
災害による損失	135	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51	－
損害賠償金	－	258
訴訟損失引当金繰入額	29	－
その他	3	0
特別損失合計	231	275
税金等調整前四半期純利益	462	357
法人税、住民税及び事業税	115	15
法人税等調整額	82	138
法人税等合計	198	153
少数株主損益調整前四半期純利益	263	204
少数株主利益	3	0
四半期純利益	260	203

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	263	204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	163
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	△137	165
四半期包括利益	125	370
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	122	369
少数株主に係る四半期包括利益	3	0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	462	357
減価償却費	732	726
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△51	△131
訴訟損失引当金の増減額（△は減少）	－	△2,108
損害賠償損失	－	258
災害損失	135	－
受取利息及び受取配当金	△91	△91
支払利息	128	128
持分法による投資損益（△は益）	△21	△8
投資有価証券売却損益（△は益）	△2	－
売上債権の増減額（△は増加）	110	739
たな卸資産の増減額（△は増加）	△191	336
仕入債務の増減額（△は減少）	491	△1,205
その他	273	2,455
小計	1,976	1,457
利息及び配当金の受取額	102	103
利息の支払額	△129	△129
供託金の返還額	－	800
損害賠償金の支払額	－	△2,099
災害損失の支払額	△24	△59
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△775	222
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,149	294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	－	△1,299
有価証券の償還による収入	500	1,299
有形固定資産の取得による支出	△572	△1,344
その他	△13	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85	△1,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	△2,000
長期借入れによる収入	－	1,800
長期借入金の返済による支出	△557	△529
自己株式の純増減額（△は増加）	－	△0
配当金の支払額	△309	△206
その他	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△870	△940
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	194	△2,010
現金及び現金同等物の期首残高	5,644	8,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,838	6,127

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,360	6,829	24,189	92	24,281	—	24,281
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	—	8	69	78	△78	—
計	17,368	6,829	24,197	162	24,359	△78	24,281
セグメント利益	431	205	636	34	670	—	670

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,288	5,999	22,287	154	22,442	—	22,442
セグメント間の内部売上高又は振替高	46	—	46	69	116	△116	—
計	16,335	5,999	22,334	224	22,558	△116	22,442
セグメント利益	524	66	590	30	621	—	621

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。